

第2次トランプ政権始動

大寒波の1月20日、第47代アメリカ大統領にドナルド・トランプが就任した。「米国の黄金時代は今始まる」とアメリカ第一主義を強調し、就任当日からたくさんの大統領令に署名、国内外から大きな反響が出ている。ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルとパレスチナの紛争を終結させるウルトラCの手腕をみせる天才型大統領なのか、あるいはまた、他人の意見は一切聞かずに独走する独裁者なのか、誰にも読めず、目が離せないところだ。ニューヨークに住んでいる日本人としては、日米関係が堅固であることが最も気になる点だが、これから何が起こるのか先が見えない状況だ。ただ、周囲にはトランプ大統領を応援する人も現れてきている。「神によって救われた」という昨年7月のペンシルベニアでの銃撃事件から風向きが大きく変わったように感じる。前例のない速さで仕事を進めているトランプ新政権によって、ニューヨーク市内の様子も急速に変わりつつある。

不法移民強制送還

トランプ政権が最初に打ち出した不法移民の国外強制送還が、早速全米各地で始まった。アメリカ国内には約1,400万人の不法移民が滞在しており、その内の約6割が不法滞在で摘発の対象になっていると言われている。逮捕者は最初の5日間で6,000人を超えているようだ。

ニューヨーク市ブロンクス区では、誘拐、暴行、窃盗容疑の不法移民者が逮捕された。摘発したのは米移民税関捜査局(ICE)とニューヨーク市警察(NYPD)。ニュージャージー州やイリノイ州のシカゴでも大量の摘発が始まっていて、1950年代初めに冷戦期のアメリカで言論人や学者などが親共産主義者として告発された「レッドパージ(赤狩り)」の再来を思い起こさせる。移民が多いアメリカ社会に不安が高まっている。在留邦人の中にも学生ビザが切れてそのまま滞在してしまっている人も中にはいるのではないだろうか。

ブルーステートと呼ばれる民主党勢力の多くは聖域州と呼ばれているが、今回の強制送還や取り締まりは、その中の聖域都市が特にターゲットとなっているようだ。聖域州・都市とは、不法移民に寛容・歓迎な政策をとっている州や都市を指し、ニューヨーク州やイリノイ州、カリフォルニア州など11州が「聖域州」、市や町レベルでは約600都市が「聖域都市」を宣言している。今回全米最大の聖域都市とされるニューヨーク市のアダムス市長(民主党)は「この街は移民の街で、この国は移民の国だ。移民の人々の不安をやわらげたい」と述べているが、今回ニューヨーク市内でも摘発があったことが、ニューヨーカーに大きな衝撃を与えている。

その一方で、バイデン前政権下で急増した不法移民による犯罪に対する不安も高まってきている。先日、ニュー

ヨーク市内を通る地下鉄の電車内で居眠りをしていた女性に火をつけて殺害するという不法移民の凶悪事件が発生し、市民に衝撃が広がった。犯罪ばかり犯している不法移民たちの強制送還を歓迎する声も高まっている。トランプ政権が発足してまだ間もないが、最近では、地下鉄構内や路上で寝ていたり、車両の中でよく見るホームレスも急に減少しているように感じる。以前のような安全で治安の良いニューヨークに戻れることを切に願っている。

機密解除令

ジョン・F・ケネディ暗殺から60年以上、キング牧師とロバート・ケネディ暗殺から50年以上も真相が隠蔽されてきたが、トランプ大統領はついに機密解除の大統領令を発令した。はたして、各省庁が大統領の命令に従うかどうかは鍵となるが、このような機密情報の公開指示などは国民の誰もが望んでいることであり、この先どのように動くか非常に関心のあることだ。「政府とは国民のもの。一部の官僚の所有物ではない。国家の情報は国民のもの。国民が透明性と真実を知る権利がある。」と主張するトランプ大統領は、マスコミから目の敵にされているが、アメリカ国民ファーストを貫き通すところは頼もしく感じている。政府とは一体何なのか。この考えが第2次トランプ政権の特徴であり理念であると思う。

ハワイ州議会議長

1月15日、ハワイ州議会が2025年会期を開始した。今回、与党の院内総務に任命された中村ナディーンさん(ようぼく)が下院議長を務めた。ハワイ州議会において初めての女性議長でもあり歴史的なスタートとなった。ナディーンさんは、昨年6月にアメリカ伝道庁が主催した「SoulFire天理教フェイスカンファレンス」で基調講演を行なったこともあり、アメリカの教友の中でも馴染みの深い人である。

アメリカの議会では、議事開始にあたって、通常Chaplain(聖職者)が演壇で宗教上の説教を行う。普通はキリスト教の牧師や神父が行うのだが、今回は聖職者を代表して岩田タッド天理教ホノルル港教会長が天理教の教えに基づいた説教を行って議事が始められた。この様子はライブで全国に放映され、ハワイの教友はもとより、アメリカ在住の教友たちが喜びを共にした。彼らのますますの活躍と成功を祈っている。



岩田タッドさん(左)と中村ナディーンさん
州議会を終えて